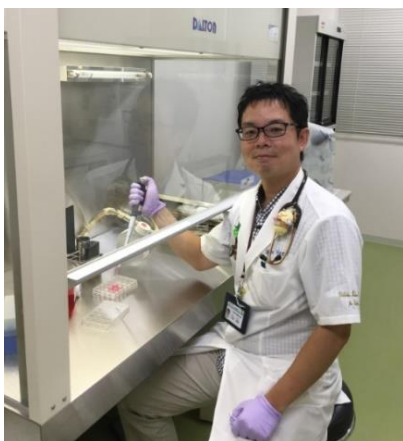
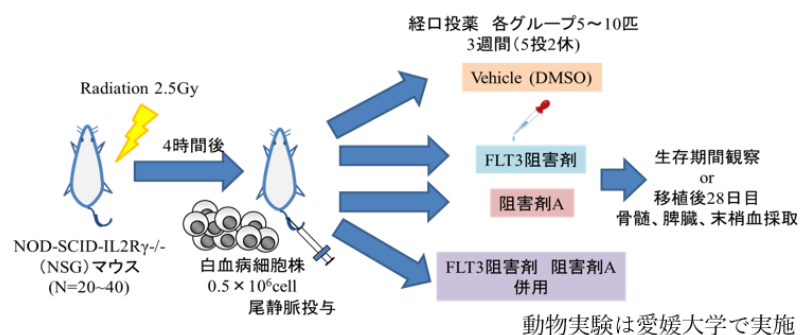
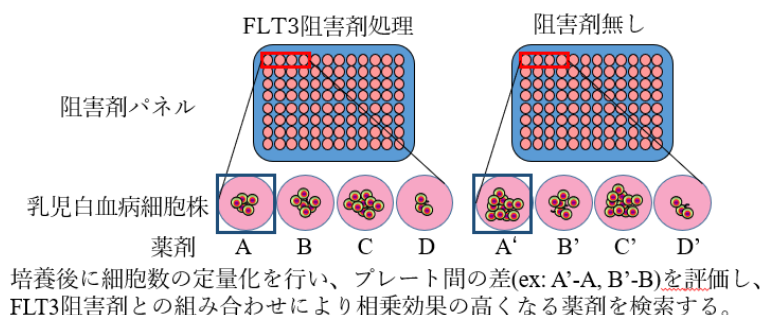


臨床研究部研究室紹介 — 難病性疾患研究室 —

令和2年1月から愛媛大学医学部附属病院より四国こどもとおとなの医療センターへの配属勤務しております小児血液腫瘍内科の永井功造と申します。旧香川小児病院に1年半勤務し、8年ぶりにまた戻って参りました。この場で紹介させて頂く機会を頂きましたので、これから始めようとする研究について記したいと思います。小児白血病は30~40年の間に化学療法の発展と造血幹細胞移植により、その治療成績は大きく向上しました。それでも再発や難治性のケースが存在し成績は頭打ちとなり新たな観点に基づく治療法の開発が求められています。その中で私は分子標的療法に注目し、米国ジョンスホプキンス大学に2年間留学し急性骨髄性白血病 (AML) の *FLT3* 変異を対象とした分子標的治療の研究に従事しました。現在、私は留学で取り組んだ研究を小児の疾患に応用した「*MLL* 遺伝子再構成陽性乳児リンパ性白血病 (ALL) に対する *FLT3* を標的とした分子標的療法の開発」の研究に取り組んでいます。

MLL 遺伝子再構成陽性の乳児 ALL は造血幹細胞移植を含む強力な治療にも関わらず予後不良な白血病です。*MLL* 再構成 ALL においては *FLT3* の過剰発現が認められ、その異常活性化が白血病化に関与していることから、*FLT3* 阻害剤は *MLL* 再構成 ALL において効果が期待されていました。しかし、臨床試験においてその効果は満足できるものではありませんでした。そこで本研究では、*MLL* 再構成白血病幹細胞株を用いて *FLT3* の他に白血病幹細胞の生存に重要な役割を持つシグナル経路を同定し、*FLT3* 阻害剤とその経路を標的とする分子阻害剤を併用することにより有効な分子標的療法を探索します。



小児の腫瘍は、成人と比較して少ない数の発がんに影響の大きい遺伝子変異で形成される傾向にあり、複数の細胞内シグナル伝達を抑えるアプローチが有効であるものと考えます。このような分子標的療法が確立されれば、化学療法に代わり急性期および晩期合併症の少ない効果的な治療が可能であり、難治性の乳児白血病患者に得られる利益は大きいものと考えます。

四国こどもに配属されはや8か月が経過しました。大分仕事に慣れこれから体力が持つ限り基礎研究にも手を伸ばしたいと思います。なにとぞ応援よろしくお願致します。



臨床研究部からのお知らせ

院内研究助成の報告書の提出時期です

2019 年度院内研究助成（研究奨励・研究育成）を受けた方は、報告書の提出が必要です。該当者には、臨床研究部から院内便で通知しています。

報告書は自由様式で、助成を受けた研究に関する学会発表・論文発表について予定も含めて記載して下さい。論文発表は必須です。

報告書の提出期限は 10 月 2 日（金）までで、すでに過ぎていますので、未提出の方はできるだけ速やかにご提出をお願いします。

四国こどもとおとなの医療センター医学雑誌への投稿を受け付けております

現在、「国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター医学雑誌」の原稿を募集しております。

原稿の受付締切は 12 月 1 日（火）となっておりますのでよろしくお願いします。

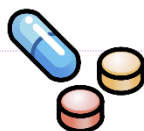
投稿方法は雑誌内に記載されている投稿規定に従ってください。

10 月 15 日（木）17:30~18:00 の第 7 回臨床研究部講座で、～ 院内雑誌への投稿 初心者編～として、初心者向けの原稿の書き方等についての話を予定しています。院内雑誌への投稿をお考えの方は是非ご参加ください。



承認された医薬品のご紹介

医薬品として承認されました！



「くすりの候補（治験薬）」を用いて、国の承認を得るために治験薬の効果や安全性の成績を集める臨床試験を「治験」といいます。当院でもいくつか実施していますが、実施していた治験の治験薬が医薬品として厚生労働省より承認されました。これも治験に参加いただきました患者さまと患者さまのご家族のご理解とご協力あってのことです。心より感謝申し上げます。また、院内スタッフの皆様、お力添えをいただきありがとうございました。

これからも、患者さまの安全性に最大限の配慮を行うとともに、患者さまの気持ちに寄り添い、治験を実施していきたいと思っています。治験の実施にご協力とご理解のほどよろしくお願いいたします。

医薬品	適 応	実施診療科	責任医師
メラトベル顆粒小児用 0.2%	小児期の神経発達症に伴う入眠困難の改善	児童精神科	中土井 芳弘

医薬品の詳細については、下記の URL をご参照ください。

・メラトベル顆粒小児用 0.2%

https://www.nobelpharma.co.jp/_cms/wp-content/uploads/2020/06/0904ede02edbf3e7cac5f3103662687e.pdf

